

新・すこやか未来アクションプラン (第2期計画)における 「量の見込み」の見直しについて

■教育・保育

■地域子ども・子育て支援事業(5事業)

- ・地域子育て支援拠点事業
- ・病児・病後児保育事業
- ・時間外保育事業
- ・一時預かり事業(保育施設によるもの)
- ・一時預かり事業(幼稚園によるもの)

1 事業名

教育・保育

2 量の見込み算出方法(第2期計画策定時)

国	「推計児童数」×「潜在家庭類型」×「利用意向率」
新潟市	<p>国の手引きに基づいた推計（ニーズ調査）は、市の実績数値と大きく乖離しており見直しが必要であると判断。（平成29年6月通知「作業の手引き改訂版」より、10%以上の乖離がある場合は原則として見直しが必要。）また、調査は平成30年12月に実施されており、無償化に伴う正確かつ詳細な情報が伝わっていない時期の調査であるため、無償化による教育・保育の必要量の影響を見込むには精度にかける。よって、下記の方法で算出する。</p> <p>【1号認定】 ①2016～2019年度の利用率実績値より平均増減率を算出する ②前年度の利用率+①で求めた平均増減率で当年度の利用率を算出する ③推計就学前児童数×②で求めた利用率で推計利用者数を算出する</p> <p>【2・3号認定】 ①2016～2019年度の申込率実績値より平均増減率を算出する ②前年度の申込率+①で求めた平均増減率で当年度の申込率を算出する ③推計就学前児童数×②で求めた申込率で推計利用者数を算出する</p>

3 量の見込み ＜利用人数＞

1号	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	5,288	4,653	4,330	3,938	3,658	3,383
実績	5,030	4,532	4,236	3,794		

2号	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	13,158	13,216	13,209	12,935	12,973	13,003
実績	13,338	13,469	13,404	13,068		

3号(1・2歳)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	8,137	8,040	8,261	8,626	8,799	8,942
実績	7,967	7,880	7,671	7,639		

3号(0歳)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	1,446	1,297	1,331	1,362	1,387	1,409
実績	1,210	1,213	1,153	1,167		

確保の方策 ＜提供体制＞

1号	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	7,418	7,503	7,503	7,428	7,278	7,113
実績	7,445	7,005	6,611	6,190		

2号	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	13,884	14,248	14,248	14,248	14,248	14,248
実績	13,947	14,517	14,675	14,760		

3号(1・2歳)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	7,119	7,578	7,578	7,578	7,578	7,578
実績	7,404	7,542	7,833	7,929		

3号(0歳)	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	2,159	2,295	2,295	2,295	2,295	2,295
実績	2,227	2,242	2,350	2,366		

1 事業名

地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)

2 事業概要

家庭や地域における子育て環境の変化や、子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域の身近な場所で乳幼児と保護者の相互の交流、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行います。

3 量の見込み算出方法(第2期計画策定時)

国	<ul style="list-style-type: none"> ●「基本指針」の参酌標準 ニーズ調査等により把握した、地域子育て支援センターの希望利用日数等に基づき、居宅から容易に移動することが可能な範囲で利用できるよう配慮しながら、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。 ●量の見込み算出の「手引き」 「量の見込み(人日)」＝「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向」 ※「家族類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」 ※「利用意向」＝①利用意向率×②利用意向日数 【対象】年齢：0～2歳
新潟市	○H26～H30実績平均増減率 × 前年度実績

4 量の見込み ＜利用人数＞

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	365,002	298,335	294,964	291,631	288,336	285,077
実績	263,162	164,126	140,715	-		

確保の方策 ＜提供体制＞

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	46～48	45	45	45	45	45
実績	45	45	45	43		

1 事業名

病児保育事業(病児・病後児保育事業)

2 事業概要

病気(病児)や病気の回復期(病後児)にある児童について、保護者が就労などにより、家庭で看護又は保育できないときに、医療機関や保育施設に併設した病児・病後児保育施設で一時的に保育を行います。

3 量の見込み算出方法(第2期計画策定時)

国	<ul style="list-style-type: none"> ●「基本指針」の参酌標準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 満3歳以上小学校就学前子どもの数を病児保育事業の利用可能性がある者と捉えた上で、ニーズ調査等により把握した事業の利用実績及び利用希望を勘案して、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。 2. ニーズ調査等により把握した事業の利用実績及び利用希望を勘案して、市町村が適切と考える区域ごとに整備されるよう、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。 ●量の見込み算出の「手引き」 <p>「量の見込み(人日)」=「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向」</p> <p>※「家族類型別児童数(人)」=「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」</p> <p>※「利用意向」=①利用意向率×②利用意向日数</p> <p>【対象】年齢：0～5歳</p>
新潟市	<p>①既設区(東・中央・江南・秋葉・西区) 「各年度前年度実績(または見込値)」×「平成28～30年度伸び率平均(区別)」</p> <p>②新設区(北・南区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度(開設年度)～令和2年度「各年度前年度実績(または見込値)」×「江南区と秋葉区における開設年度(※)から2か年の各年度の前年度からの伸び率平均」 ※秋葉区：平成24年度、江南区：平成25年度 ・令和3年度～令和6年度「各年度前年度実績(または見込値)」×「平成28～30年度伸び率平均(区別)」 <p>③新設区(西蒲区) 「各年度前年度実績(または見込値)」×「秋葉区における開設年度(※)から2か年の各年度の前年度からの伸び率平均」</p>

4 量の見込み ＜利用人数＞

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	12,489	14,871	15,722	16,411	17,373	18,226
実績	10,670	3,412	7,757	-		

確保の方策 ＜提供体制＞

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	10～12	12	12	12	12	12
実績	12	11	11	-		

1 事業名

時間外保育事業(延長保育事業)

2 事業概要

11時間の開所時間を超える保育需要へ対応するため、開所時間の前後において延長保育を実施します。

3 量の見込み算出方法(第2期計画策定時)

国	<ul style="list-style-type: none"> ●「基本指針」の参酌標準 利用希望把握調査等により把握した、小学校就学前子どもの保育に係る希望利用時間帯を勘案して、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。 ●量の見込み算出の「手引き」 「量の見込み(人)」=「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向率(割合)」 ※「家族類型別児童数(人)」=「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」 ※【対象】年齢：0～5歳
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ●国の「手引き」に基づき算出。 R2年以降は、園児見込み数(2、3号)の伸び率で算出。

4 量の見込み

<利用人数>

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	10,532	12,978	13,120	13,190	13,326	13,438
実績	13,424	11,240	11,051	-		

確保の方策

<提供体制>

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	270	279	279	279	279	279
実績	270	278	284	-		

1 事業名

一時預かり事業(保育施設によるもの)

2 事業概要

日中、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、保育園等で、一時的に預かり、必要な保育を行います。

3 量の見込み算出方法(第2期計画策定時)

国	<p>●「基本指針」の参酌標準 利用希望把握調査等により把握した、小学校就学前子どもを一時的に第三者に預けた日数(幼稚園の預かり保育を利用した日数(幼稚園の預かり保育を定期的に利用した場合を除く。))を含む。)の実績に、今後の利用希望を加えたものを勘案して、子育て援助活動支援事業等の他の事業による対応の可能性も勘案しながら、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。</p> <p>●量の見込み算出の「手引き」 「量の見込み(人日)」＝「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向」－「幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)(1号認定による利用のみ)の利用意向日数」－「(不定期事業の利用状況)における「ベビーシッター」「その他」の利用日数」 ※「家族類型別児童数(人)」＝「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」 「利用意向」＝①利用意向率×②利用意向日数 【対象】年齢：0～5歳</p>
新潟市	<p>① 保育園などの一時預かりの利用者は、未就園児が主であるため、対象を「全ての家庭類型、年齢0～2歳」とする。 ② ①にニーズ調査の(不定期事業の利用意向)で「利用したい」を選択した者の割合と、「保育園での一時預かり」と「ファミリー・サポート・センター」を利用している者の平均利用日数(約8日)を乗じる。 →第2期計画 ○直近3カ年実績増減率 × 前年度実績 の値で見直し</p>

4 量の見込み <利用人数>

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	25,866	21,795	20,007	18,417	16,930	15,574
実績	24,235	18,318	18,974	-		

確保の方策 <提供体制>

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	-	279	279	279	279	279
実績	260	268	274	-		

1 事業名

一時預かり事業(幼稚園によるもの)

2 事業概要

市内の私立幼稚園において、働きながら幼稚園に通わせたいなどの保護者の要望に応え、正規の教育時間の前後に在園児を預かり、保育活動を行っています。

3 量の見込み算出方法(第2期計画策定時)

国	<ul style="list-style-type: none"> ●「基本指針」の参酌標準 利用希望把握調査等により把握した、小学校就学前子どもを一時的に第三者に預けた日数(幼稚園の預かり保育を利用した日数(幼稚園の預かり保育を定期的に利用した場合を除く。))を含む。)の実績に、今後の利用希望を加えたものを勘案して、子育て援助活動支援事業等の他の事業による対応の可能性も勘案しながら、計画期間内における適切と考えられる目標事業量を設定すること。 ●国「手引き」 「量の見込み(人日)」=「家庭類型別児童数(人)」×「利用意向」 ※「家族類型別児童数(人)」=「推計児童数(人)」×「潜在家庭類型(割合)」 ※「利用意向」=①利用意向率×②利用意向日数 【対象】年齢：3～5歳
新潟市	<ul style="list-style-type: none"> ●国の算出方法に準拠して見込数を算出するが、以下の調整を行う <ol style="list-style-type: none"> (1) 2号認定による利用は、利用意向率を100%としているが、無償化後は費用負担が無くなり、積極的な利用が見込まれるため、実態との乖離減少と予想(100%のまま調整なし) (2) 「私立幼稚園の量の見込み」として、全ての幼稚園が認定 とも園へ移行した区を除外 (3) 私立幼稚園児数に応じた調整(0.45≒832/1,832) アンケート結果は「H30時点の公私立幼稚園全園児」の預かり保育ニーズのため、 <ol style="list-style-type: none"> ①R02までの「こども園移行園」については、園児数の割合に応じて減算 ②公立幼稚園(県立1園・市立10園)については、預かり保育未実施であるため、園児数の割合に応じて減算 (4) R03以降のこども園移行については、移行後の園児数からニーズ量の補正を行う(中間見直しで修正)

4 量の見込み ＜利用人数＞

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	6,525	84,438	82,917	79,791	78,668	77,524
実績	15,647	14,613	9,941	-		

確保の方策 ＜提供体制＞

①現行	R1	R2	R3	R4	R5	R6
見込み	5	11	11	11	11	11
実績	9	9	7	-		